

2024年12月:ガイド実施結果(ガイド実施者は原則、班編成表順で記載/敬称略)

1月1日:事務局

【7件・118名】

月日	曜日	受付番号	ガイド内容・コース	客人数	担当班	ガイド実施者	結果報告
12月1日	日	2412・01	観光情報センター(梶川裕見氏) ・赤城神社の彫刻内覧会と 流山の七福神(2カ所※)を 巡る」ツアー ※長流寺、流山寺 9時20分:平和台駅 ～11時30分:赤城神社	13	5	塩崎、落合、秋山	赤城神社境内(拝殿、本殿、末社)は小栗氏(博物館元館長)、岩橋氏(赤城神社総代)による詳細な説明(約1時間) ・平素立ち入りできない本殿、拝殿の見学では皆さん熱心に聞いておられた 来年以降、防犯上の問題により内部見学難しいとの情報あり(梶川氏) (注)参加者アンケート:高評価→希望講座は以下の通り ①流鉄の各駅名所巡り、②他の神社訪問、③流山の歴史を知る企画
12月4日	水	2412・03	オカリナ仲間(鈴木智子氏※) ※当会会員 ・流山本町界隈 9時30分:一茶双樹記念館 ～12時:平和台駅	14	6	鈴木	14名:参加者12名に加えて陣屋跡でのフリー客2名 ・新選組が秋元家土蔵に滞在していたと思われる方が数名あり ・流山の歴史をもっと知りたいとか博物館や利根運河の案内希望あり 江戸川べりでの昼食、オカリナの演奏で楽しく過ごせた
12月4日	水	2412・02	「南浦和公民館歩く会 道しるべ健歩会」 (長尾美智代氏) ・流山本町コース 10時30分:平和台駅～ 12時30分:矢河原の渡し跡	41	4 1	佐久間、吉岡 千代田、小野村 古瀬、佐藤弘 佐藤恵、岡	3グループ編成で対応(ガイド順路を違えて対応) (参加者の感想・質問等) ①「万上通り」はどこまでか、の質問あり→流山4丁目と5丁目の境から流山1丁目まで、と返答 ②陣屋跡の建物に入りたかった、との声あり ③流山の史跡は良かった。もっとPRの必要ありとの意見あり(反省等) ①赤城神社の本殿は回らない約束が回ったとの訴えあり ②万華鏡の見学で3グループが重なり思い通りに進行できなかった 参加者の中に当会会員(古瀬氏)の知人(元会社同僚)あり 御礼のメールあり(長尾美智代氏)
12月11日	水	2411・04 訂2	けやきクラブ(藤野誠治氏) ・流山本町(宿地区) 9時50分:平和台駅 ～12時:平和台駅	15	5	塩崎、落合、樋口 秋山	本町コースの根郷、宿地区を2回に分けて実施し、本日は宿地区 ・2回ともゆっくり余裕で案内。お客様の年齢層によっては提案してもよし ・参加者の中には別メンバーで再訪希望の方あり 参加者5名の方からの好評の声を幹事からメールで伝達あり
12月18日	水	2412・06	一茶双樹記念館主催 俳句教室(講師:篠塚雅世氏) ・本町界隈の吟行 10時:一茶双樹記念館 ～11時30分:茶豆蘭	15	女性班 応援	谷田か 岡	出発時に北川会長(流山俳句協会)、篠塚講師に希望コースに沿って案内も到着時間優先の旨の了承得る(吟行→到着後の句作時間) 小泉氏(流山俳句協会副会長)等2名が追加参加 ・当初予定の閻魔堂、常与寺は省略し紅葉が残っていたアトリエ黎明を追加案内。史跡説明は極力省略し感動する時間の創出を図った 案内に終始 御礼(句会報)メールあり:「冬青空ガイドの声の透き通る」(特選2票) 当会の奥山さん(受講生):「冬木立顔に傷ある大黒天」(北川会長特選)

12月23日	月	2412・04	EWS会(岡敏幸氏※) ※当会会員 流山本町コース 13時30分:流山駅~14時30分:同駅	12	事務局	岡	岡氏の元会社仕事仲間。岡氏のガイドレベルの確認と冷やかしでの来訪 ・流山にこれほどの歴史があることに驚くと共に岡氏の退職後のガイド 知識取得賞賛 陣屋跡では一般客3名も一緒になり説明
12月28日	土	2412・05	江戸川大学社会学部 →利根運河交流館(中村館長) ・場所:利根運河交流館 ・講義「利根運河の歴史」 (9時30分~10時50分)	8	事務局 応援	豊口、岡 谷田か	参加者は学生6名と佐藤先生等2名 冒頭、インフルエンザ感染等で学生参加者が減ったことへのお詫びあり 【講義内容】 1. 利根運河交流館の話:中村館長(5分) 2. 当会紹介:豊口(10分) 3. 利根運河の歴史:岡(40分) 4. 質疑応答:25分 (主要質問) ①流山市の観光行政 ②ボランティアガイドの高齢化問題と有料化問題 ③お客様の分類(小学生、生涯大学生等、待機ガイド訪問者数、他) ④利根運河周辺の生態系の変化 質問が多く盛り上がった議論となり佐藤先生から深謝あり(20分間超過)

(前年度12月実施状況) 8件・130名